

令和6年度第1回 静岡市競輪運営協議会 会議録

1 日 時 令和6年6月6日(木) 午前11時～正午

2 場 所 静岡競輪場 メインスタンド4階会議室

3 出席者 (委員) 遠藤委員、白鳥委員、浜田委員、
後藤委員、大石委員、望月委員、
内田委員、井上委員、鈴木委員、
和田里委員、大長委員、野村委員
三浦委員

(事務局) 突田次長、杉山参事、白鳥次長補佐、澤野主任主事

4 傍聴者 0人

5 議 題

- (1) 委員の委嘱について
- (2) 委員長代理の指名について
- (3) 令和5年度事業報告及び決算見込について
- (4) 令和6年度事業計画について
- (5) その他

6 会議内容

白鳥補佐：

本日は、大変お忙しい中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、ただ今から、「令和6年度第1回静岡市競輪運営協議会」を開会いたします。

はじめに、お配りした資料の確認をお願いします。表紙に「令和6年度第1回静岡市競輪運営協議会」とある資料と、参考資料の令和6年度事業計画、令和6年度当初予算資料、最後に委員名簿となっております。また、通行証もお配りしております。資料の不足はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、次第に従い進行いたします。

次第1「委員の委嘱について」ですが、今回、委員の変更がありました。

新たに委員となられた8名の方については、本来であれば、市長がお一人お一人に委嘱状を交付するところでございますが、既にお手元にお配りさせていただいておりますので、お名前等を確認いただきまして、交付に代えさせていただきたいと思っております。

なお、委員長については、引き続き遠藤裕孝委員をお願いします。

続きまして、次第2「委員長代理の指名について」です。静岡市自転車競走実施条例第7条第8項の規定に基づき、委員長があらかじめ指名する委員となります。遠藤委員長から委員長代理の指名をお願いいたします。

遠藤委員長：

白鳥委員を委員長代理に指名します。

白鳥補佐：

委員長代理は白鳥委員に決まりました。白鳥委員長代理、一言ご挨拶をお願いします。

白鳥委員：

ただいま委員長より委員長代理という重責を与えていただきました白鳥でございます。

競輪に卓見された諸先輩方が多く、大変心強く思っております。今年はグランプリの年になりますので、ぜひ委員の皆さんと一丸となって、競輪ファンに喜ばれる競輪場にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

白鳥補佐：

ありがとうございました。それでは、これより静岡市自転車競走実施条例第7条第7項により、委員長に議事・進行をお願いいたします。

遠藤委員長：

それでは、次第に従いまして進行いたします。次第3の「令和5年度事業報告及び決算見込について」を事務局から説明をお願いします。

突田次長：

次第3「令和5年度事業報告及び決算見込について」説明

遠藤委員長：

事務局の説明に対し、質問・意見等ありますか。

意見などないようですので、次第4の「令和6年度事業計画について」事務局から説明をお願いします。

突田次長：

次第4「令和6年度事業計画について」説明

遠藤委員長：

事務局の説明に対して質問意見がありましたらどうぞ。

鈴木委員：

現在、工事をやっていることで本場開催がなくなる分を（令和5年度と令和7年度に）割り振るということは、本場開催をやる方が収益は上がるということですか。

突田次長：

現在は本場を開催することで収益は上がります。来場者自体は減ってきている状況ですが、インターネットの売上げがかなり伸びている状態で、全国的にも、本場開催は収益が上がるようになっています。

井上委員：

改修事業計画5ページのあおい会館について、先ほど外装と空調の説明がありましたが、それだけでしょうか。もう少し詳細を教えてください。

突田次長：

内外装、空調、蛍光灯、あとは水回りの設備などを改修します。

井上委員：

部屋のベッドとか入浴施設とか、部屋そのものが移動するとかはないのですか。

突田次長：

それはありません。

井上委員：

大型映像装置は、新しいものにするのか。それとも改修ですか。

突田次長：

大型映像装置は改修になりますが、フレームは変えず、中のモニターを新しいものにします。

井上委員：

私の記憶だと、大型映像装置はもっと高い買い物だった気がしますが、改修だから安いということですか。

突田次長：

見積もりを取った上で予算要求をさせていただいております。なるべく経費をかけないように、まだ使用できる外回りのフレームは残して改修します。

井上委員：

はい、わかりました。

白鳥委員：

グランプリの開催が気になるのですが、最近では競輪の映像を見ると、ドローンを活用して、見せ方を工夫されているところが見受けられますが、その点についてどうなのかということと、KEIRINグランプリのPRで予定しているイベント的なものがあれば教えてもらえますでしょうか。

突田次長：

グランプリの開催中に自由視点映像を導入する予定で、バンクの中に120個ほどカメラを設置し、その映像を使った演出を考えています。

ドローン等の活用については、これから検討となりますが、イベント的なものは、特設ウェブサイトやインターネット番組の制作、静岡をはじめ東京・大阪・名古屋・福岡の街頭の大型ビジョンでCMを流します。さらに、JRの全国の主要駅や静岡鉄道の新静岡駅でデジタルサイネージ広告やポスター広告の掲出、全国の競輪場でのポスター広告の掲出、公共交通機関内の中の装飾や全国のスポーツ新聞の記事への掲出などといった広告事業を考えています。

場内のイベントとしては、タレントを使った集客イベントや、ケータリング、元競輪選手の予想会やトークショーを予定しています。

その他、ファンサービスとしては、開催前に東京での前夜祭、共同記者会見を予定していますが、詳細は今詰めているところです。

白鳥委員：

以前、産業フェアか何かで吉本興業とコラボして、静岡市自転車の街をPRする中で、競輪選手も参加してくれたり、青葉イベント広場で、グランプリのPRを行っていただきましたので、また検討してみたいかがでしょうか。

突田次長：

現在もイベントでそういった出展やPRができる機会には、なるべく参加をさせていただいております。選手の協力も必要となりますが、今後もそういったPRをしていきたいと思っております。

望月委員：

インターネットの売上げが伸びているというのはいいことだと思うのですが、お客様に本場に来てもらうというのがすごく重要なことだと思います。これまでもいろいろなことをされているとは思いますが、お客様に本場に来てもらう努力について何かお考えはありますか。

突田次長：

一般的には本場開催や、年1回の記念競輪開催に合わせてイベントを実施しています。現在改修工事で本場開催を行っていませんが、場外開催でもタレントを呼んだイベントや、ダンスイベント等を積極的

に実施しています。

三浦委員：

競輪界としては、インターネット売上げが非常に好調で、その売上げによって収益もあがっている状況です。その分わざわざ競輪場に来る必要はないというのも事実です。

ただ静岡競輪場の強みは、他の競輪場と比べて来場者が多いということでもあります。この工事期間中、本場開催がないということで、お客様に競輪場へ来てもらうことは厳しい状況ですが、次長から説明させてもらったとおり、積極的に集客イベントを行って、お客様をつなぎとめていきたいと思います。11月には本場開催が再開しますので、またその際にもイベントを実施し、盛り上げていきたいと思います。

内田委員：

5年度と6年度の歳入歳出をみると、グランプリの日数はそんなに変わらないと思うのですが、60億円ぐらい増加予定となっています。これは景気との関係で変わっているのか。どのような傾向からこの予算になっているのでしょうか。

三浦委員：

KEIRINグランプリは毎年開催されますが、前年度は立川市で開催され、今年度は静岡市で開催予定となります。この発売収入に入ってくるのは静岡市で開催した分だけです。今年度の歳入予定が347億円になっていますが、このうち150億円くらいをKEIRINグランプリ3日間の歳入としていますので、それを差し引くと、昨年度よりは、落ちるということになります。

内田委員：

景気の波で入場者数等は回復するものですか。

三浦委員：

インターネット投票で今買っていただけの方が多いので、競輪場に直接来て車券を買う方というのはだいぶ減っています。

遠藤委員長：

そのほかに質問・意見等ありますか。

質問・意見等も尽きたようですので、続きまして、次第5「その他」について、事務局から説明をお願いします。

突田次長：

次第5の「その他」についてです。

委員の皆様にも他の競輪場の状況を視察して参考にさせていただくため、さらにKEIRINグランプリのPRを実施する機会としまして、視察を実施したいと考えております。

視察先や日程ですが、議会の日程、常任委員会の視察の予定、全国の競輪場の本場開催の状況などを考慮した結果、8月19日、20日の2日間の日程で考えております。8月19日に競輪場でPR活動をし、20

日に富山競輪場の本場開催を視察、PR活動を行っていただきたいと考えています。

視察先や日程について、ご意見等ありましたらお聞かせいただければと思いますのでよろしくお願ひします。その他の説明は以上でございます。

遠藤委員長：

富山競輪場の本場開催があったことでここにしたわけです。

委員の皆様から意見があれば言ってください。

事務局のとおりで、よろしいでしょうか。それでは、事務局の提案のとおりよろしくお願ひいたします。

突田次長：

ありがとうございます。それでは、詳細につきましては、委員長と相談し決まり次第、ご案内させていただきます。

遠藤委員長：

それでは、ただいまの事務局の説明を含め、これまで全体をとおして質問・意見ありますでしょうか。

鈴木委員：

前回は提案をさせてもらったのですが、市長がいろんな専門官を各部局に置いています。そういうものも踏まえて、競輪の中にもやはり皆さんが事務的にやるにも、誰か専門官をぜひ置いたらどうかという提案を改めてさせていただきます。ダービーをやるにしても何をやるにしても、皆さんも卒業していつてしまします。また、皆さんがやるにしても、人の繋がりが競輪事業は特に大事だと思います。大きな競輪開催をやるにしても、やはり人が決めることですので、専門官として適当な人をまた見つけていただいて、お願ひできればなと思います。

遠藤委員長：

副市長どうですか、そのあたりは。

大長委員：

専門官につきましては、先ほどの話にもありましたが、市長もいろんな専門官を置いていまして、やはり知識を持った方に入っただいて、その方にご尽力いただきながら、競輪場においても、必要であれば、そういう方をお願ひしたいというのはあります。どういう方がいいのか考えたいと思います。

遠藤委員長：

ありがとうございました。考えていただけるということなので、また中間報告でもいただければ、皆さんにも報告はするようにいたします。

大長委員：

経験を持った方が専門官で来て、何をするかというのはあるので、グランプリを中心に活動するのかどうか、また、どのようなことをしてもらおうかというのも考えなければなりませんので、時間をいただいて考えたいと思います。

遠藤委員長：

他にどうですか。

意見等ないようですので、これで終了します。

それでは事務局へお返しします。

白鳥補佐：

遠藤委員長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さまにおかれましても、ご審議ありがとうございました。

最後に事務連絡ですけれども、競輪開催日の入場方法についてのお願いです。本日お配りしました通行証はご来場の際に必要となります。通行証が無いと警備の都合で止められてしまう場合もありますので、お忘れになった場合には、正面入場口の守衛室にお寄りいただきまして、通行証をお受け取りください。

以上で、本日はすべて終了となります。ありがとうございました。これをもちまして、令和6年度第1回静岡市競輪運営協議会を閉会します。